

【施設状況】

グループ名称	中条社会就労センター、地域活動支援センターけやき								
指定管理者名	特定非営利活動法人なかじょう					法人番号	1100005007764		
所管課	主	100600	福祉政策課	副	102000	障害福祉課			
構成施設	5108	中条社会就労センター							
	1419	地域活動支援センターけやき							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	【施設】鉄骨造2階建 延床面積273.50㎡ 社会事業授産施設 :2階部分 作業室、休憩室、事務室 地域活動支援センター:1階部分 作業室3、事務室、休憩室								
施設設置目的	【授産施設】 身体上若しくは精神上の理由又は世帯の事情等により就業能力の限られている者に対して、就労又は技能の修得のため必要な機会及び便宜を与えて、その自立を助長することを目的とする。 【地活センター】 障害のある人が地域において自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう、施設において創作活動、生活活動の機会の提供を行うとともに、社会との交流の促進を図ることを目的とする。								
基本方針等	・身体上若しくは精神上の理由又は世帯の事情等により就業能力の限られている者に、より良い就労環境と機会を与え、障害のあるなしに関わらず施設利用者の枠を超えて交流のできる地域に根ざした施設となることを目指す。 ・地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、市、障害福祉サービス事業を行う者、その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者等との連携に努めるとともに、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供していく。								
主な実施事業	【授産施設】 民間企業から作業を受託し、その受託作業に係る収入を工賃として支払うことにより、通常の雇用契約による就業が困難な施設利用者の自立の助長を図る。 【地活センター】 地域活動支援センター事業(作業訓練・生活訓練・社会体験訓練・相談)								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	特定非営利活動法人なかじょう			当該指定管理者の 指定回数	1 回	
指定期間	令和3年4月1日	～	令和8年3月31日	5年	当該指定管理者の 管理運営開始日	令和3年4月1日
指定 管理者 の 健全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年比	評価
	授産施設(利用者月平均)	人	29	29	29	28	97%	
	地域活動支援センター(利用者月平均)	人	8.2	7.9	8.2	8.0	98%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項)【授産施設】利用定員30人。生活保護法の規定による要保護者、障害者の技能修得・就労の機会の提供を目的とする施設であり、定員に余裕があるときは、一般の利用者を受け入れるもの 【地活センター】定員14人 登録者数12名								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			
	市指定事業	・授産施設の事業実施に関する業務 ・授産施設の利用許可・条件付与・許可取消しに関する業務 ・授産施設の施設及び設備の維持管理に関する業務 ・授産施設の利用料金の收受、割引等に関する業務 ・授産施設の効用を増加させる自主事業に関する業務 ・支援法第77条第1項第9号に規定する地活センターの実施に関する業務 ・施設及び設備の維持管理に関する業務						
	自主事業	・地域支援事業(草刈、農作業支援) ・農産物加工・販売(切干大根、野菜販売等) ・薪制作・販売						
サービス維持・向上の取組み(広報等)	施設利用者とのコミュニケーション、地域内における住民・各施設との交流活動継続により、情報共有・交換が図られ新規施設利用者の受け入れ(保健師・民生児童委員等からの相談をきっかけに、地域の引きこもり者を新規施設利用者として受け入れるなど)、地域ニーズと合致した自主事業(高齢化で実施困難となった草刈・農作業支援、処分に困る間伐材を需要が高まる薪の制作・販売・納品(やきもち家等)、地元産品として魅力アップに貢献する農産物加工品納品(地元直売所等)を実施。 【前年度記載内容】施設利用者との日々のコミュニケーションを通じて意見や苦情を聞き取る体制を整えている。 自主事業については、地域支援を基本理念とした活動が地域に根付き、固定受注主を獲得することが出来るようになった。							

4

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	その他	
利用者からの評価	(2) 調査、会議等の内容	要望・苦情は随時受付される体制に取り組み、夕礼時職員会議の時間をもうけ協議を行うほか、常に職員間での連携を取りつつ対策に臨んでいる聞き取った要望等は施設職員でその都度共有し、改善方法等を検討し運営に反映している		
	(3) 調査、会議等の結果	要望・苦情は随時受付される体制に取り組み、夕礼時職員会議の時間をもうけ協議を行うほか、常に職員間での連携を取りつつ対策に臨んでいる聞き取った要望等は施設職員でその都度共有し、改善方法等を検討し運営に反映している		
	(1) 良好とする評価	・高齢となり人と交流する機会が増々減る中、施設での作業は同年代の利用者も多く、良い雰囲気で作業ができています。 ・施設職員は他地域在住者も多いため、地域の話などで会話が進み、コミュニケーションのとりやすさを感じる。 ・利用者及び家族から、「〃けやき〃が、本当の自分の居場所」「ここがなくなるようなら困る」等、施設に対する愛着の意思表示がある。 ・「〃けやき〃に来るのが楽しみであり、生きがいになっている様子を示している利用者が多い。		
	(2) 苦情・改善等の要望事項	施設職員が障害者等の作業効率の悪い利用者ばかりに手をかけており、一般利用者のことはあまり気にかけてくれず、不公平だ。 <<対応措置>> 施設職員について、作業効率が悪い障害者に手をかけ一般利用者にあまり気をかけてくれないとの要望が以前あったが、施設職員が授産施設としての施設設置目的を踏まえつつ作業に関与し、更に各施設利用者の出来高重視を見直し施設利用者全体での作業としたことでほとんど不満の訴えが解消された。		

4

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和3年度)				市の収支				評価		
	年度計画額		収支実績額		令和3年度決算		令和2年度決算(前年度)				
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額			
収入	利用料金	75,000	利用料金	50,082	歳入	使用料		使用料			
	指定管理料	27,578,000	指定管理料	27,578,000		雑(納付金)		雑(納付金)			
	委託料	0	委託料	0		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料			
	販売収入等	0	販売収入等	0		貸付料		貸付料			
	その他収入	1,049,000	その他収入	1,155,738		その他		その他			
	作業収入	5,450,000	作業収入	4,672,296		負担金 保護施設事務費	20,714,250	負担金 保護施設事務費	22,464,750		
	奨励金	370,000	奨励金	319,220							
	計	34,522,000	計	33,775,336		計	20,714,250	計	22,464,750		
	支出	人件費	23,305,000	人件費		22,294,443	歳出	指定管理料	27,578,000	指定管理料	27,578,000
		設備管理費	567,000	設備管理費		739,691		委託料		委託料	
備品購入費		120,000	備品購入費	184,429	需用費			需用費			
修繕費		470,000	修繕費	309,310	役務費	21,226		役務費	21,318		
光熱水費		870,000	光熱水費	845,448	使用料・賃借料	345,180		使用料・賃借料	348,480		
事業費		1,998,000	事業費	2,129,872	修繕費			修繕費			
事務経費		1,370,000	事務経費	1,941,939	工事請負費			工事請負費			
本社経費		0	本社経費	0	備品購入費			備品購入費			
その他		2,000	その他	0	その他			その他			
奨励金		370,000	奨励金	319,220	計	27,944,406		計	27,947,798		
支払工賃	5,450,000	支払工賃	4,660,575								
計	34,522,000	計	33,424,927								
自主事業	収入	4,580,000	収入	3,557,001							
	支出	4,580,000	支出	3,426,624							
	自主事業損益	0	自主事業損益	130,377							
損益		0		480,786	差引	-7,230,156		-5,483,048			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和3年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)								66.7%			
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※すべて☑で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☑	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数)		
	・常勤5人(5人)、非常勤1人(1人) 【内訳】施設責任者1人、事務員兼指導員1人、指導員4人		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☑	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☑	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	☑	3
	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☑	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

6 危機管理体制 ※すべて☑で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

No. 10

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	☑	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	☑	
	防犯、防災対策	☑	
1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか			
2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか			
緊急時対応、体制	☑		
1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか			
2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの積極的な雇用 ・地元住民や地元企業からの作業委託 ・地域支援事業(自主事業)の実施 ・地域行事への協力・参加 ・地域内の空地空家管理への協力 ・地元の保健師や民生委員等との連携に努め、情報の共有を図っている。 		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	4	8	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	4	8	
合計得点			

評価理由
<p>・「施設の有効活用」、「利用者評価」及び「地域連携」について、自主事業として行っていた援農の延長から、地域支援と共に地域の居場所として重要な役割を果たしていることを評価し、それぞれ「4」とした。</p> <p>・地域内からの受託業務を行う際に、支援が必要な人についての情報が地域住民から寄せられた場合には、関係機関への繋ぎ役として、また他サービスの利用に繋がらなかった利用者の受入れを行うなど、地域福祉において、非常に大きな役割を担っており、今後も継続して行っていただきたい。</p> <p>・地域柄、農作業の機会が多いが、高齢等の理由から現役での農作業が出来なくなった利用者が、他の利用者に作業の助言をするなど、利用者自身が持つ力を生かせる環境を整えていることは、高く評価する。</p>

取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用者数の維持 		<p>【利用者数の維持】</p> <p>地域内の保健師や民生委員との連携により、新規利用につながり、またその結果、地域から支援を必要とする人についての情報が施設に寄せられるようになってきている。</p>	

次年度の目標・取組み等(施設所管課)
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域への周知と新規受注企業の開拓等を行い、利用者数の維持と作業収入の増加を図る。 ・施設建設後30年以上を経過し、施設・設備の老朽化が課題となっているため、日々の点検等を通じて修繕が必要な箇所の早期発見に努め、協定に基づく責任分担の下、適切に修繕等の対応を行う。 ・2階で活動している中条社会就労センターとの連携を引き続きお願いしたい。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

・2施設統合管理として更新をした初年度として、各事業所の方針等の見直しを重点とし職員への業務内容の周知を図り運営に努めました。よって各事業所それぞれ利用目的とサービス提供のメリハリと主張制が改められたと思います。特に自主事業に関しては全員参加を主体とし、各施設職員との連携、利用者との交流を深めることに取り組みました。

② 業務の効率化に対する取組み

・各施設異なる業務ではありますが、運営方針・利用目的を考慮し効率性を高め、ゆとり性かつ柔軟性のある業務にとり組みました。よって職員の協力体制の強化と各施設利用者の共存が深まったと思われます。

③ その他

・中条地区外からの利用も増えてきましたが、地域住民からの信頼の声が増えてきたと思われます。施設運営だけに留まらず、地域貢献に携わった運営事業を提案し実行に努めたいと思います。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

・各事業所の共通として利用者の高齢化による利用人数と稼働力の低迷化があります。よって地域への周知を図るとともに、開放的な事業が必要と思われます。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

・方針どおりの運営を実施していますが、発展性が見込まれていません。

② 次年度以降の取組み

・各施設の利用者数の確保の取組みを実施するために、魅力ある事業展開に努めます。